

第2回ワークショップを開催しました

1.開催にあたって

今回のワークショップは、「行きたい公園 様々な視点で深堀」をテーマにメンバーのみなさんからご意見や提案などを頂きました。



2はじめに

第1回目のワークショップにおける遊亀公園の将来、ほしい施設、機能に関するみなさんからの感想や意見・提案などをふりかえりました。

その後、幼児の遊具やアスレチック、雨の日でも遊べる・水遊びができる・レストランやカフェなどの意見や要望が多かったため、公園からも動物園からも利用できるビクターセンターのイメージについて紹介がありました。



3、第2回ワークショップはどんな雰囲気だったの？

今回のワークショップの特徴は、ワークショップの後半にグループ発表があることです。ABC D各班における意見や提案、疑問点などを整理し、班ごとに選出されたメンバーが発表しました。各班の仲間意識？が芽生えたような、楽しい発表会となりました。



4、ワークショップの進め方

今回のワークショップでは前回のふりかえりを踏まえた「遊亀公園のあり方」について考え、意見交換を行いました。次回は、動物園について同様にまとめ、4回目で全体まとめを行います。



》 本日の進め方

- ① 前回グループ意見のまとめ 集約化
- ② ①を参考に新たな視点でアイデアを書く
- ③ ②をグループ内で発表し質疑
- ④ 集約化（見出し付け）

休憩

グループ発表5分、質疑 2分



5、2回目ワークショップの主な意見

遊亀公園の将来像

ユニバーサルデザイン

- ・どの世代もいつでも使える。
- ・子供、老人を分けたスペース。
- ・世代を超えて交流できる場所。
- ・設備、展示に対する点字の導入。
- ・車椅子での行動がスムーズに行える通路幅やスロープの設置。

リニューアル

- ・古き良い懐かしさは残した、リニューアル。
- ・公園のシンボル（噴水や野外音楽堂など）、遊亀公園ならではのものは残す。
- ・珍しい鳥が来るとのことなので、環境を壊さない。
- ・公園の整備を通して、まわりへの波及効果で、商店街や街が活性化。
- ・将棋コーナー
- ・バーベキューや花火が出来る。
- ・遊園地の活かし方を期待している。
- ・芝生広場の有効活用

イベント

- ・イベント、ナイトサファリ、夜のイルミネーション
- ・マルシェ、朝市、骨董市、フリマ

環境

- ・タバコの分煙化。
- ・動物園の悪臭対策。
- ・ゴミ対策

運営

- ・管理に対する不安、事故対応など
- ・「地域の人や利用者と共に動物園の運営」が具体的に分からない。

その他

- ・VRやスマートフォンを活用して、動物展示の充実。
- ・正の木祭りとの関わりあい。
- ・ブロンクス動物園のアスレチック楽しそう。

【ほしい施設・機能】

- ・ビジターセンター（休憩所、食事スペース、喫煙所）
- ・遊具（動物の能力体験や、動物への興味を誘う、年齢別室内遊具）
- ・カフェ
- ・売店
- ・運動機能（フィールドアスレチック（大人の体力づくり）、ウォーキングスペース、散歩コースなど）。
- ・遊び場（小学生、雨天時など）
- ・トイレの整備（増設、バリアフリー）
- ・授乳室、オムツ替え室の整備
- ・清潔な池
- ・淡水魚水族館
- ・じゃぶじゃぶ池（事故・危険性への取り組みは？）



屋内型遊び場（スマイルキッズパーク）



カフェ（京都市動物園）



淡水魚展示（京都市水族館）



トレイル遊具（ブロンクス動物園, USA）



ビジターセンター（中目黒公園）



水遊び（シンガポール動物園）